

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講師 奥羽大学大学院咬合機能修復学 元教授  
鳴倉 道郎 先生

2. 演題 「支台歯形成がうまくなるために」

3. 日時 平成26年9月25日(木)  
17時00分 ~ 18時30分

4. 場所 歯学部特別講堂(歯科棟南4階)

## 5. 内容

支台歯形成は歯冠補綴治療を行う場合、最も重要と言ってもよいステップであり、これがうまくできないと機能性や審美性に優れたクラウンやブリッジは装着できない。また日常の臨床での頻度も高く、開業歯科医ならば誰もが数えきれないほど経験しているはずである。しかしながら技工室で作業模型の支台歯を観察してみると、どうやってワックスアップしたらよいのか首をひねらざるを得ないような形成も多い。そこで今回は支台歯形成がうまくいかないのはどこに原因があるのか、うまく形成するためにはどこに着眼すればよいのか、実例をまじえながら解説したい。

連絡先：三浦 宏之(岡田 大蔵) (摂食機能保存学分野 内線 5521)